

*横須賀を中心に近隣のみどころを紹介するコーナーです



第33回 横須賀の古東海道を歩く

古くは日本武尊が東征の折に、中世には日蓮聖人や三浦一族、江戸時代には浦賀奉行所往還に武士達も通った古東海道を歩いてみませんか。

(距離約5km、所要時間:約2時間)

歩くときのワンポイントアドバイス



古道は歩道のないところがあります。車両などには十分注意して歩いて下さい。

天神坂

大津村に入る目安で、往時はもっと急な坂と伝えられる。坂の途中の大津町5丁目町内会館脇には、天神社の狛犬と庚申塔と地蔵があるが、天神社は大津の諏訪神社に合祀され今はない。



曹源寺

曹洞宗のお寺で、昔は宗元寺と称し、天平年間に行基が創建したと伝えられる。1町四方の大伽藍があり、三浦半島の文化の中心であった。このお寺は、江戸時代に三浦薬師とも呼ばれ、眼病に悩む人達の信仰を集めていたといわれる。



舞台坂の五輪塔

法塔の十字路から金谷方面に行くと左側に五輪塔が3基ある。この辺りの坂を舞台坂という。いつの時代か不明だが、ここは古戦場で戦死した人の墓碑が供養塔と思われる。



根岸の庚申塔

17基の庚申塔が並んでいる。一番古いものは天明8年(1788)、一番新しいものは、平成8年(1996)のものである。宅地開発などで各地に点在していたものが集められたと考えられている。



法塔の十字路

金谷の大明寺と深田台の龍本寺を結び道しるべ。向って右側の法塔は天明8年(1788)に日蓮の500年遠忌記念に建てられた。台座には『東浦賀・南三崎・西鎌倉・北横須賀』とあり、道標の役目を果たしていた。

